

## 記者発表資料

「R3国道20号甲府徳行電線共同溝その2工事」において、  
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」  
「難工事指定」「余裕期間制度」を採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策を行っています。

今回発注する「R3国道20号甲府徳行電線共同溝その2工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度」、「難工事指定」を採用します。

※工事内容については、別添の工事概要を参照して下さい。

### 【不調・不落対策の採用】

#### ①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

#### ②「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

#### ③「余裕期間制度（任意着手方式）」

発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる「余裕期間制度（任意着手方式）」を採用します。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ

### お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 電話055-252-5491（代表）  
副所長（道路） 松澤 尚利（まつさわ なおとし）  
地域防災調整官 清水 巧（しみず たくみ）

## ●R3国道20号甲府徳行電線共同溝その2工事

### 《工事概要》

- (1) 工事場所：山梨県甲府市徳行3丁目地先から山梨県甲府市徳行4丁目地先
- (2) 工期：工事の始期から365日間  
(工事着手期限：令和4年4月1日)
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (4) 工事種別：アスファルト舗装工事 A+B
- (5) 工事内容（概要）

電線共同溝工	約460m
管路部	約460m
特殊部	7基
付帯設備工	1式
雑工	1式
仮設工	1式

### 《難工事指定》

本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、限られた狭隘な作業ヤード内での施工になることから厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を採用します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評価を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

### 《余裕期間制度（任意着手方式）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

### 《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書交付：令和4年 1月26日（水）
- 競争参加資格確認申請書提出期限：令和4年 2月 4日（金）
- 入札書・工事費内訳書の提出期限：令和4年 3月 7日（月）
- 開札日：令和4年 3月10日（木）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

